

G7 富山環境大臣会合 パラレルセッション「都市の役割」について

セッション構成・概要

1. 日時：2016年5月15日(日) 10:00～16:40 (予定)※公開セッションの時間
場所：ホテルグランテラス富山4階 瑞雲の間

1. 背景及び趣旨

人やエネルギーが集積する都市は、エネルギー消費という点での温室効果ガス排出の問題、また、人及び事業活動の集積による環境汚染等の問題が発生する蓋然性が高い。世界の温室効果ガス排出量の70%以上は都市から排出されており、また、世界の都市の多くは沿岸部に位置している。この意味で、温暖化の極端な影響を受ける危険が最も高いのも都市であり、都市における緩和策及び適応策の取組は今後より一層重要になる。都市は、気候変動を含む環境保全施策のダイナミックな実施手法を数多く持ち、実践されている。

G7 富山環境大臣会合が開催される富山市は、行政側の努力として、高齢化社会に対応するためのコンパクトシティ化を促進するなど、ユニークな取組が行われている。また、昨年のCOP21においても、リマ・パリ行動計画の実施という観点で、都市の役割の重要性が改めて認識されたところである。このため、以下を目的として、G7 環境大臣会合のパラレルセッションを開催する。

- ①先進的な取組を行う都市の首長の参加を得て、都市が果たす、環境保全と新たな社会構造への対応について、事例を紹介し、今後の各国での進展について検討・情報共有を図る。
- ②都市における環境保全施策を推進する上で、中央政府が果たすべき役割について検討・議論する。

これらの結果は議長サマリーとしてとりまとめられ、5月16日に行われるG7 環境大臣会合の朝食セッションにて報告される。

2. セッション概要

(1)開会セッション

- ・主催者挨拶：環境省代表
- ・共同議長挨拶：森 雅志 富山市長、浜中 裕徳 IGES（地球環境戦略研究機関）理事長

(2)第1セッション

テーマ：交通網の近代化とコンパクトかつ強靱なまちづくり

拠点集中型のコンパクトな街づくりの先進事例や、郊外における低炭素化を推進するた

めの低炭素型交通（LRT や燃料電池自動車・電気自動車等の活用、及びこのためのインフラ整備等）の試み等について紹介します。公共交通や徒歩・自転車などを軸とした交通の取組が、環境の改善さらには住民に生活の質を高めることにどのようにつながるかについて議論を行う予定です。

(3) 第 2 セッション

テーマ：地域資源を活用した低炭素で強靱なエネルギー需給に係る取組

地域特有の再生可能・未利用エネルギー資源を活用する取組や、自律的で強靱な地域エネルギー供給システムにより復興を目指す取組などについて紹介します。都市の低炭素化に欠かせないエネルギー面の取組が具体的にどのように行われる可能性があるのか、事例に基づいた議論を行う予定です。

(4) 第 3 セッション

テーマ：都市の先進事例の共有と都市間連携の促進・国際機関の果たす役割

先進的な都市の取組を後押しするための、都市間連携の事例や関連機関の活動について紹介します。都市の知見・経験を共有し、開発途上国を含む他都市に面的に展開していくために、果たしていくべきネットワーク・中間支援組織の役割について議論を行う予定です。

(5) 閉会セッション

・第 1～3 セッションは公開にて行いますが、閉会セッションは非公開です。